

平成 17 年度事業計画書

特定非営利活動法人 大気イオン地震予測研究会 e-PISCO

1 事業実施の方針

前年度と同様の方式で、今年度も観測点をさらに増設し、観測点ネットワークを充実させる。地震発生が盛んな地域を選んで多地点観測を行い、大気イオン濃度の前兆的变化が検証可能か、また大気イオンの発生源が推定可能かどうかを検討する。その他、研究会会員には各地の測定情報及び危険推定地域の配信を行う。

普及、広報活動では、従来通りに「大気イオン地震予測法」の基礎を前年度の研究成果をふまえてまとめ、その原理と応用のための解説書を発行し、学会等で発表すると共に、研究会や市民サークル等で講演活動を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	従事者の 予定人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支 出 見 込 額 (千円)
大気イオン濃度測定器研究開発事業	環境大気中のイオン濃度を正確に測定でき、なおかつ一括送信できるシステムの改良、開発及びメンテナンス	前年度より継続	岡山理科大学及び岡山市津島東2丁目2番地9-5号ラモール津島102	10名	大気イオン地震予測研究に関心のある者不特定多数	2,500
全国的な大気イオン濃度測定事業	各地に設置した大気イオン濃度測定器の計測を行う	前年度より継続	大気イオン濃度測定器設置場所(日本全国で20ヶ所設置予定)	100名	大気イオン地震予測研究に関心があり協力してくれる者不特定多数	696
測定データのオンライン収集・処理・配信事業	各地の大気イオン濃度測定器データをインターネットで収集し、その測定データと前年度のデータから発生源を見極め、インターネット上で公開	前年度より継続	岡山市津島東2丁目2番地9-5号ラモール津島102	10名	大気イオン地震予測研究会 e-PISCO の会員およびデータ提供を希望する者不特定多数	433

研究成果の普及啓発事業(大気イオン地震予測研究会e-PISCO講演会)	大気イオンと地震との関係についてこれまでの研究成果を発表すると共に、大気イオン測定的重要性を述べ、測定器の普及に努める	前年度より継続	全国各地	15名	大気イオン地震予測研究会e-PISCO講演参加者 約100名×12回	1,740
研究成果の普及啓発事業(大気イオン地震予測研究会e-PISCO出版物)	前年度の研究成果による「大気イオン地震予測法」の基礎をまとめ、その原理と応用のための解説書を発行する	平成17年冬	岡山市津島東2丁目2番地9-5号ラモール津島102	5名	出版物(約1万部発行予定)の読者不特定多数	1,044